

新しいことにも意欲をもって

～水筆・タブレット～

2年生も終盤と言いながら、新しい学習用具を使う機会もあります。普段は使うことが少ないものでも、みんな意欲的に楽しく学習を進めています。

例えば**水筆**です。書写の学習を進める中で登場しました。鉛筆とは違い、力の入れ具合で線が太くなったり細くなったりします。まっすぐ書こうとしても、ぐねっと曲がってしまいます。筆独特の書き味に苦戦しつつも、教科書や先生のお手本を見ながら「とめ」「はね」「はらい」「まがり」「そり」などに気をつけて字の練習をしました。3年生に進級してからは、墨汁を使った習字の時間があります。水筆は服が汚れる心配も無いので、春休み期間などで取り組んでみるのもいいですね。

子どもたちの食いつきがよかった学習と言えば、**タブレット端末**を使った学習です。東雲小学校でも、一人一台備わっているため、一人一人が操作をしながら学習を進めることができます。1組では、**カメラアプリ**を使って写真を撮り、その写真を見ながら詩を書きました。瞬間的な様子を収めていたり、日常では意識しない画角から撮影していたりする写真を見ることで、発想を広げて詩の創作にとりくむことができました。2組では、ドリルや教科書の**QRコード**を読み取り、オンラインサイトで学習をしました。タブレットの画面をなぞる操作にもすぐ慣れ、自分のペースで学習を進める様子が見られました。

タブレットを使用するにあたり、教室では「他人の写真を無断で撮らないこと」「分からない画面が出たらすぐに先生に相談すること」など、**情報モラル**や**リテラシー**についても触れながら指導をしています。子どもたちがタブレットやスマートフォンに触れる機会があれば、話題にしてみてください。

